

平成27年3月期
決算ダイジェスト

平成27年5月8日



平成27年3月期 決算ハイライト



【連結】 (百万円)

	26年3月期	27年3月期	前期比	増減率
経常収益	9,595	8,938	657	6.9%
経常利益	1,399	1,209	189	13.5%
当期純利益	860	970	+110	+12.8%

【単体】 (百万円)

	26年3月期	27年3月期	前期比	増減率
経常収益	9,476	8,827	648	6.8%
コア業務純益	1,575	1,263	312	19.8%
経常利益	1,686	1,202	484	28.7%
当期純利益	1,148	963	184	16.1%

【自己資本比率(バーゼル)】

	26年3月末	26年9月末	27年3月末	前期末比
連結自己資本比率	8.81%	8.98%	8.56%	0.25%
単体自己資本比率	8.75%	8.92%	8.51%	0.24%

【不良債権比率(金融再生法開示債権比率)】 (百万円)

	26年3月末	26年9月末	27年3月末	前期末比
金融再生法開示債権額	20,692	20,700	20,339	353
不良債権比率	6.45%	6.44%	6.39%	0.06%

連結決算は、3期ぶりの減益となりました。

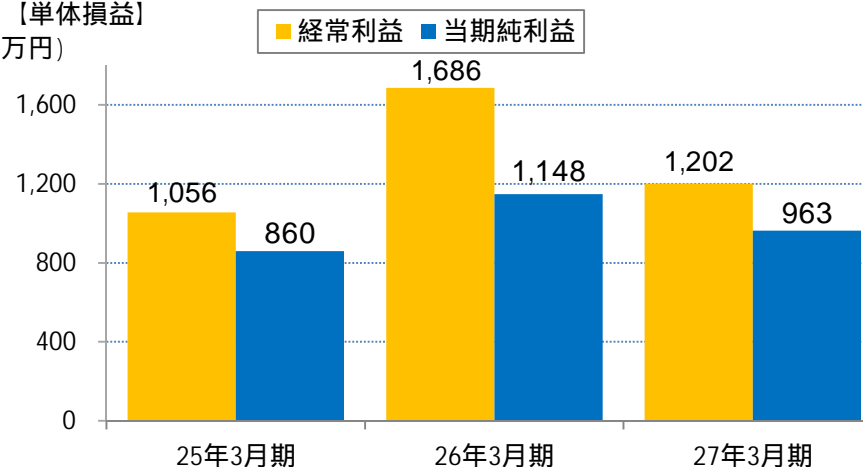
- ・ 経常収益 8,938百万円 (前期比 657百万円)
- ・ 経常利益 1,209百万円 (前期比 189百万円)
- ・ 当期純利益 970百万円 (前期比 +110百万円)

単体決算は、3期ぶりの減益となりました。

- ・ 経常収益 8,827百万円 (前期比 648百万円)
- ・ コア業務純益 1,263百万円 (前期比 312百万円)
- ・ 経常利益 1,202百万円 (前期比 484百万円)
- ・ 当期純利益 963百万円 (前期比 184百万円)

- ・ 連結自己資本比率は前期末比0.25ポイント低下し、8.56%となりました。
- ・ 不良債権比率(金融再生法開示債権比率)は前期末比0.06ポイント低下の6.39%となりました。

【単体損益】
(百万円)



平成27年3月期 単体決算の概要

(単体) 損益概況

[単体]	(百万円)		
	26年3月期	27年3月期	前期比
業務粗利益	7,514	7,057	456
(除く債券関係損益)	7,481	7,042	438
うち資金利益	7,112	6,841	271
うち役員取引等利益	295	217	77
うち債券関係損益	32	15	17
経費()	5,906	5,779	126
実質業務純益	1,608	1,278	329
コア業務純益()	1,575	1,263	312
一般貸倒引当金繰入額()	95	339	244
業務純益	1,703	1,618	84
臨時損益	17	416	399
うち株式関係損益	67	168	+100
うち不良債権処理費用()	140	584	+444
経常利益	1,686	1,202	484
特別損益	72	130	57
税引前当期純利益	1,613	1,071	541
法人税等()	62	17	45
法人税等調整額()	401	90	311
当期純利益	1,148	963	184
与信関連費用()	18	175	+194

コア業務純益 = 業務粗利益債券関係損益 - 経費

業務粗利益（前期比 456百万円）
 ・貸出金利息の減少等に伴う資金利益の減少により、
 26年3月期比減少いたしました。

経費（前期比 126百万円）
 ・引き続き経費の圧縮に努め、物件費等の減少を主因として、
 26年3月期比減少いたしました。

コア業務純益（前期比 312百万円）
 ・経費の圧縮に努めましたものの、業務粗利益の減少等により
 26年3月期比減少いたしました。

与信関連費用（前期比 +194百万円）
 ・不良債権処理費用は引き続き低水準となったものの、
 26年3月期の計上額を上回りました。

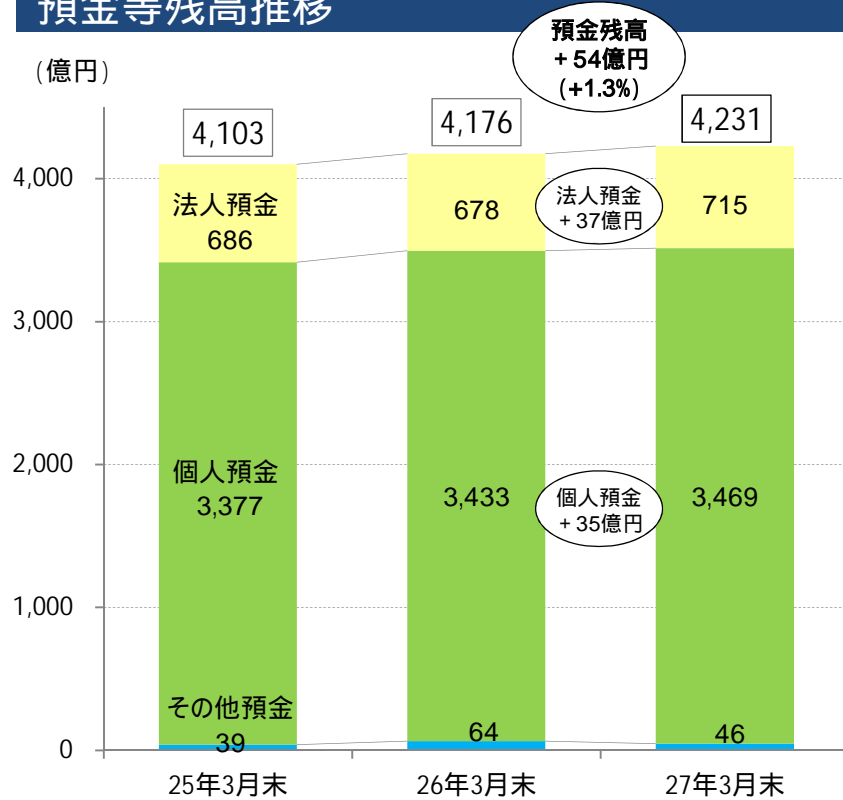
経常利益（前期比 484百万円）
 ・コア業務純益の減少および与信関連費用の増加により、
 26年3月期比減少いたしました。

当期純利益（前期比 184百万円）
 ・法人税等調整額が減少したものの、経常利益の減少により、
 26年3月期比減少いたしました。

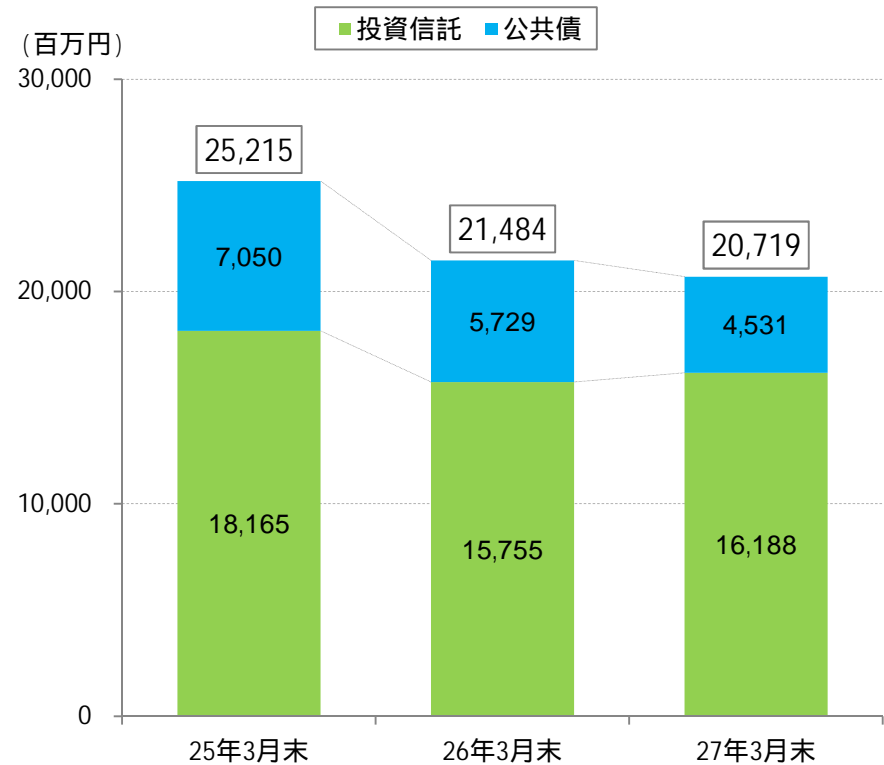
預金・預り資産

・預金は、個人預金及び法人預金が増加したことにより、26年3月末比54億円増加し、4,231億円となりました。
 ・預かり資産残高は、公共債残高が26年3月末比減少し、20,719百万円となりました。

預金等残高推移



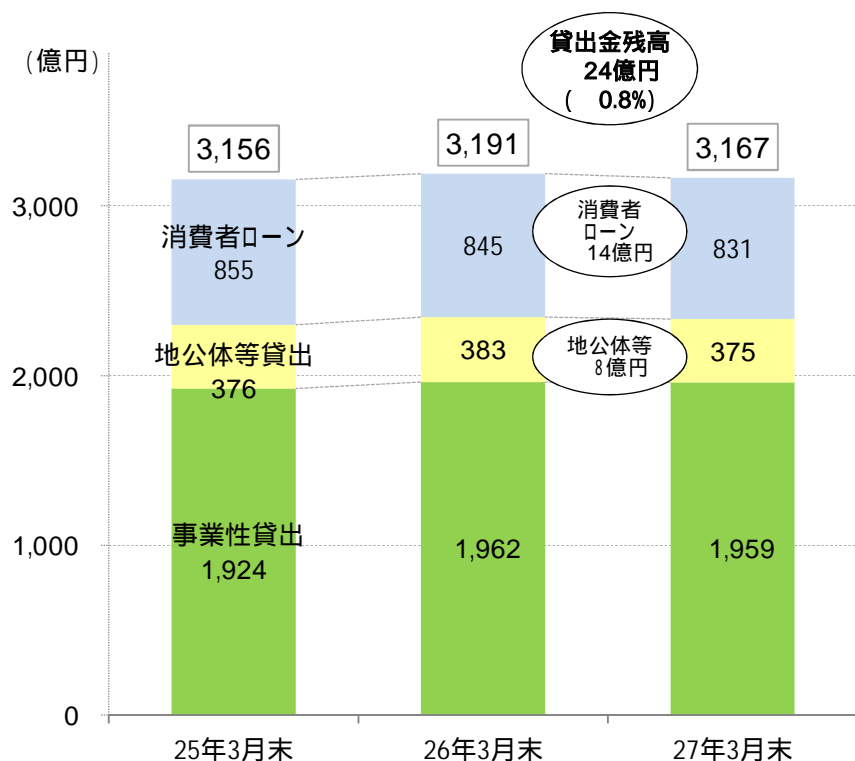
預り資産残高推移



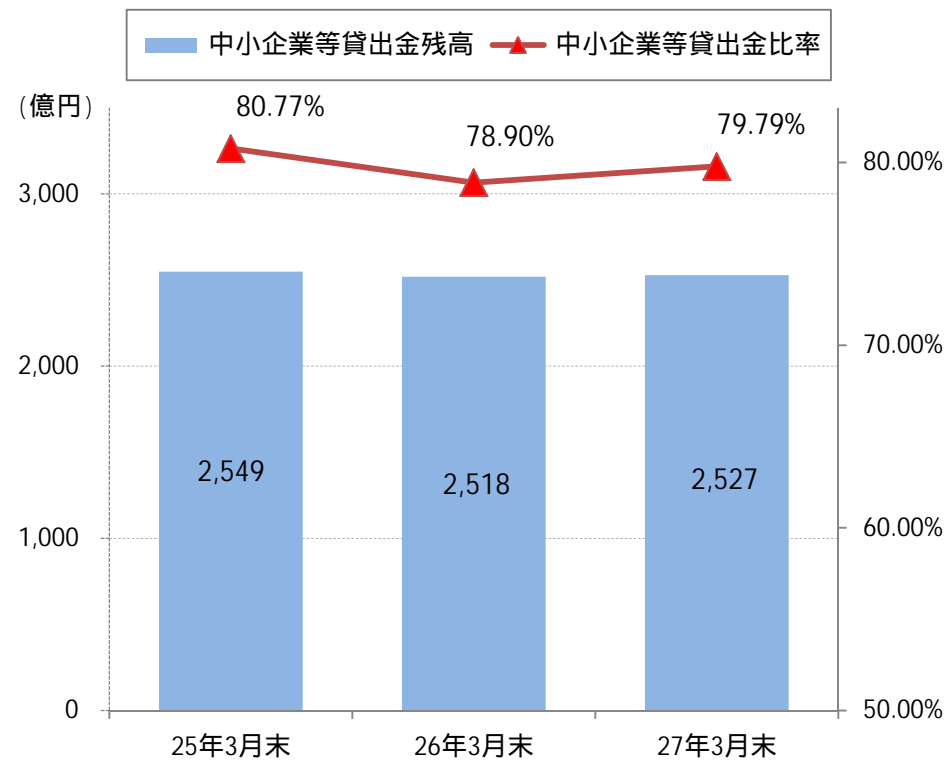
貸出金

- ・貸出金残高は、事業性貸出及び消費者ローンともに減少した影響により、26年3月末比24億円減少し、3,167億円となりました。
- ・消費者ローンは、住宅ローンが減少したことにより、26年3月末比14億円減少し、831億円となりました。

貸出金残高推移



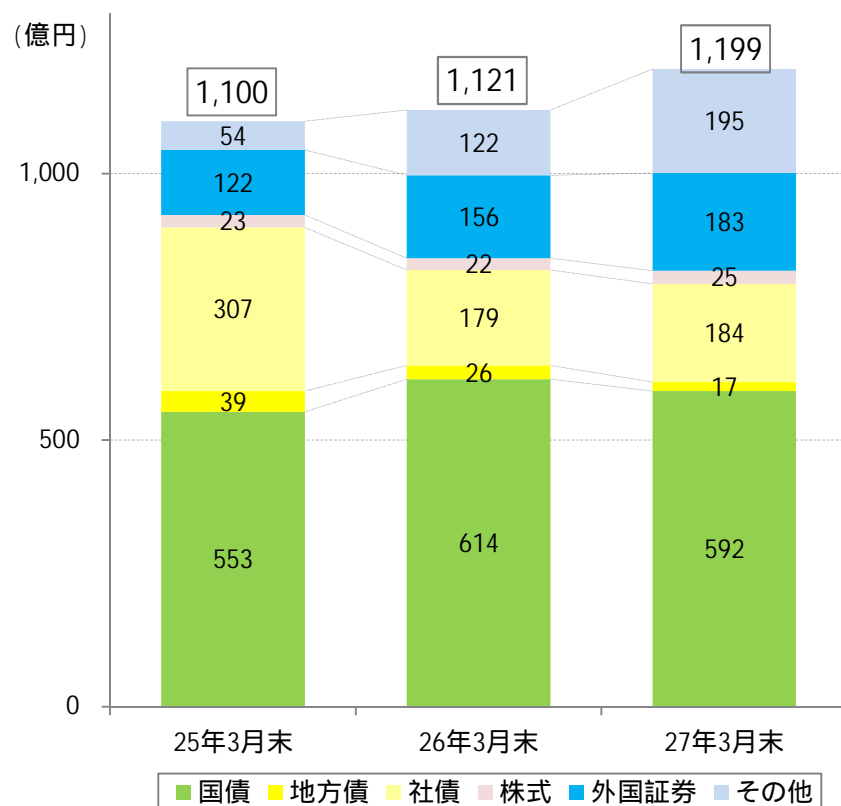
中小企業向け貸出残高推移



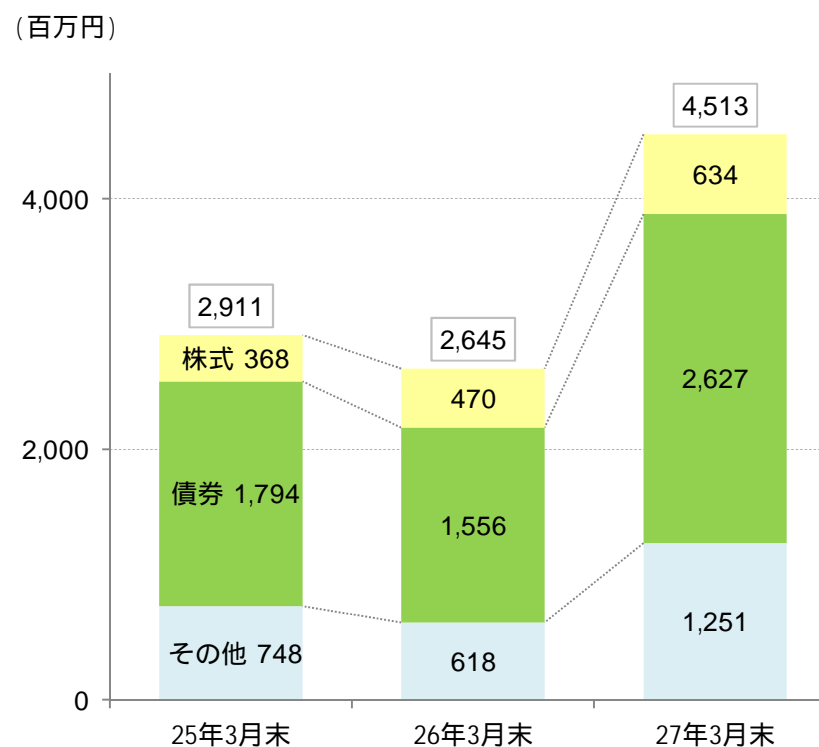
有価証券

・有価証券評価損益は、株式および債券ともに評価益が増加し、26年3月末比1,867百万円増加の4,513百万円となりました。

有価証券残高推移



有価証券評価損益推移

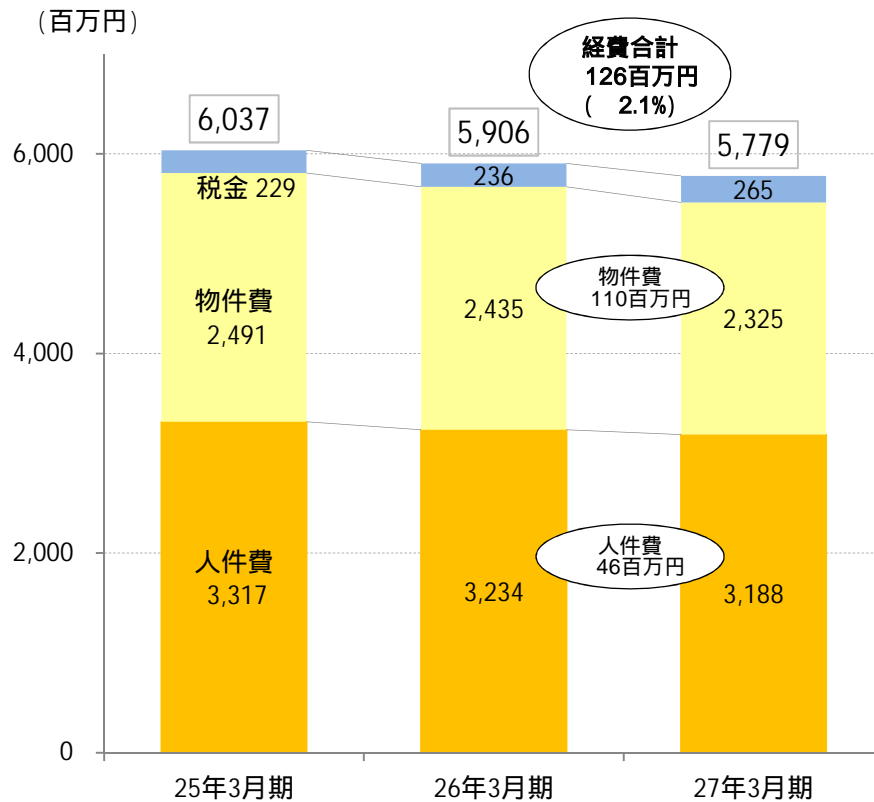


経費 / 不良債権の状況

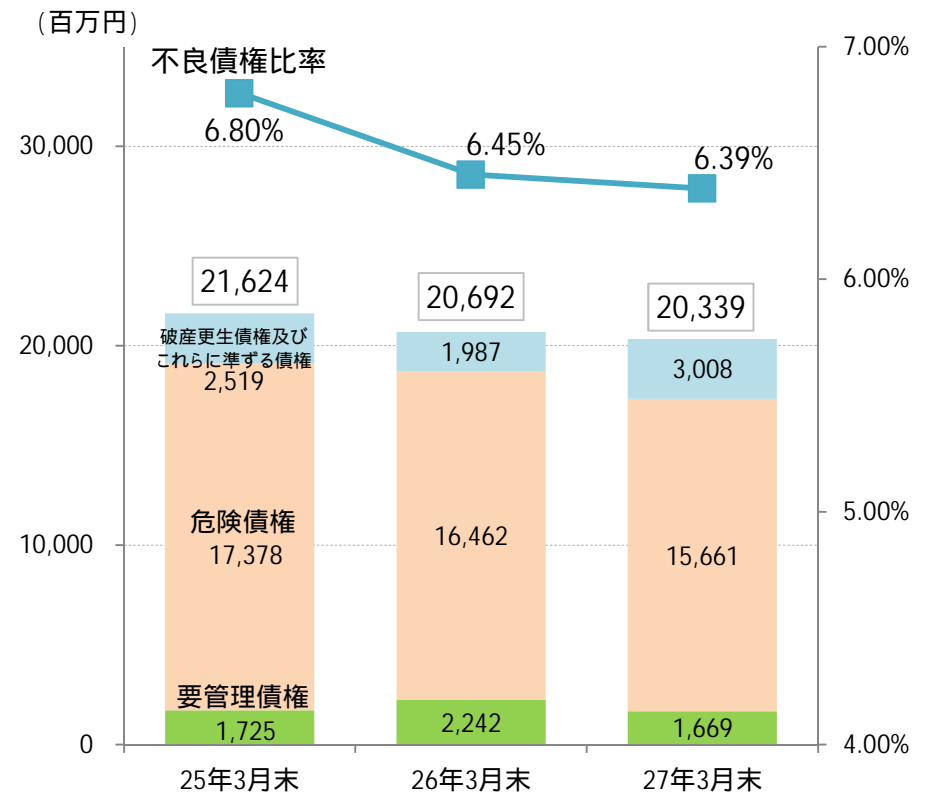
経費は、消費税増税により税金は増加いたしました。引き続き人件費および物件費の圧縮を図り、26年3月期比126百万円減少し、5,779百万円となりました。

不良債権比率は、危険債権等の減少等により、金融再生法開示債権残高が減少し、26年3月末比0.06%低下し、6.39%となりました。

経費の推移



金融再生法開示債権の推移



平成28年3月期業績予想



【連結予想】

(通期) (百万円)

	27年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年度比 (B) - (A)
経常収益	8,938	8,920	18
経常利益	1,209	970	239
親会社株主に帰属する 当期純利益 ()	970	880	90

(中間期) (百万円)

	26年9月期 (A)	27年9月期 (B)	前年同期比 (B) - (A)
経常収益	4,803	4,460	343
経常利益	1,019	470	549
親会社株主に帰属する 中間純利益 ()	948	430	518

【単体予想】

(通期) (百万円)

	27年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年度比 (B) - (A)
経常収益	8,827	8,800	27
経常利益	1,202	970	232
当期純利益	963	880	83

(中間期) (百万円)

	26年9月期 (A)	27年9月期 (B)	前年同期比 (B) - (A)
経常収益	4,734	4,400	334
経常利益	1,019	470	549
中間純利益	949	430	519

連結経常収益

・貸出金利息の減少等により27年3月期比減収を見込んでおります。

連結経常利益

・貸出金利息の減少等により27年3月期比減益を見込んでおります。

与信関連費用

・一般貸倒引当金繰入額の増加を見込んでいることから、27年3月期比増加を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益

・連結経常利益の減少により27年3月期比減益を見込んでおります。

「企業結合に関する会計基準」の改正に伴い、平成27年度の期首以降、「当期純利益」の表示は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に変更となっております。

【1株当たり予想配当金】

1株当たり予想配当金

・1株当たり5円を期末配当として予定しております。

	年間	うち期末
配当予想	5円00銭	5円00銭